

福岡市は異常 すぎませんか!?

Kuramoto's Eye
倉元視点

子どもたちを寒さに震わせと
いて何を身につけさせようという

のですか。忍耐ですか、根性ですか。そんなことよりやるべきことはたくさんあるのではないのでしょうか。学力向上というなら良い学習環境を整えてやって思う存分学



んでもらう。こう考えるのが当たり前でしょう。子どもにとっての利益は何なのか、教育委員会はもっと真剣に考えていただきたい。(談)



1月25日、日本共産党市議団は暖房使用を要請しました(右列中央が倉元市議)

エアコンあるのに使わせない!? 教室の暖房使用認めよ

子どもに無意味な苦行

倉元市議が 市議会で追及

1月23〜25日にかけて福岡市など九州北部は記録的な寒波に…。日本共産党の倉元達朗市議は、学校教室にエアコンがあるのに暖房使用を認めない市教育委員会の方針をあらため、暖房使用などを認めるよう2月18日市議会で追及しました。



市議会で追及する倉元市議

「国基準でも10℃以上」
教室は2℃になる寒い日もありますが、文部科学省の学校環境衛生基準は教室の温度は「10℃以上が望ましい」としており、市教委の姿勢はこの法令にもそむくものです。

「衣服で調整が可能」!?
市内の小学校にはエアコンがすでに設置されていますが(中学校は今年夏設置予定)、市教委は電気代などを理由に「衣服による調整が可能」として暖房使用を認めていません。また、実際には多くの学校現場で授業中の防寒着の着用も認められていません。

インフルエンザ対策にも不可欠
倉元市議は、これらの点を市議会で追及。今年、警報レベルとなったインフルエンザ予防の点でも暖房は不可欠であることも指摘しました。さらに、文科省が「児童生徒等に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、冬期で18〜20℃」としていることも示し、暖房使用を迫りました。教育長は、どんなに寒くても暖房は使わせないという異常な立場にしがみつきました。

福岡市教育委員会の異常な態度に、ツイッター(インターネットの短文投稿サイト)でもあきれの声が広がっています。

このご時世に暖房がないって…



こんなことまで申し入れなければならないとは、市教委はどうなっているのかと思いました

おかしすぎます! しかもこの寒波ですよ。四の五の言わずにつけりゃいいですね!



こんな、当たり前の配慮すら出来ない教育現場があること自体、信じ難いです!



ネットで話題に
日本中があきれた

戦争法廃止へ 5野党が合意

2月19日に安保法制=戦争法の廃止や国政選挙での協力などを確認した5野党党首会談での合意が結ばれました。倉元市議も、戦争法廃止の2000万署名の先頭にたつなど、この流れを加速させるためにがんばります!

倉元達朗も
戦争法廃止へ
がんばります

こんにちは
城南

議会報告 2016年3月

日本共産党

倉元達朗

市議



このビラへのご意見・感想をお寄せ下さい

発行: 日本共産党福岡市議団
☎092-711-4734

@kuratatsu0711

ブログ「転がりつづける日々」
http://jcpf1967.blog.fc2.com

無料 法律・生活
相談会

4月1日(金)
5月6日(金)
午後7〜8時
六ヶ町会館 別府 5-4-8

3月16日(水)
4月20日(水)
午後7〜8時半
倉元達朗事務所
※移転しました 長尾 1-16-19
☎865-0688

生活保護、相続、訴訟、離婚、借金、架空請求、成年後見、行政相談などお気軽にどうぞ。



倉元市議が要望・質問

子どもの貧困対策の強化について高島市長に直接訴える倉元市議（昨年12月7日）

子どもの貧困

福岡市の子どもの4人に1人が貧困 倉元市議と共産党の提案受け 実態調査に予算つく

日本共産党市議団は高島市長に対し昨年12月7日に新年度予算への重点要望をおこないました。

その席上、倉元市議は子どもの貧困は深刻であり、立場の違いをこえて早急に手だてをとり、まず実態調査を行うよう市長に要望しました。

市の子どもの貧困対策の問題点は今後報道します

また、倉元市議は、市こども子育て審議会でも対策を要求。福岡市では子どもの貧困率が23・6％に達しており、実に子どもの4人に1人が貧困という深刻な実態があります。

これらを受けて、市は子どもの貧困対策や貧困調査を行う新年度予算案を発表しました。

共産党の提案

- 貧困の削減目標の設定を
- 就学援助の切り下げやめよ
- 給付制奨学金を市独自につくれ
- 中学3年生まで通院・入院とも完全無料に



原発ゼロでこそ普及すすむ

倉元市議が議会で提案！

ところが、福岡市は再生可能エネルギーの普及目標を、2030年までに市内電力消費量の8％としています。国が20％としているのと比べてもあまりにも低いもの。倉元市議は「目標を抜本的に引き上げよ」と提案しました。

それなのに電力の8％自給が目標！

福岡市内にはどれだけの再生可能エネルギーがあるかを質問。市内のすべての電力をまかなえる潜在的な利用可能量があることがわかりました（下図）。

福岡市内には市内の全電力をまかなえる再生可能エネルギーの潜在量がある！

日本共産党の倉元達朗市議は、1月の市議会の都市問題等調査特別委員会で、福岡市の再生可能エネルギーの普及についてたどしました。

あまりにも低い福岡市の普及目標 抜本的に引き上げを

再生可能エネルギー



倉元質問でわかった

福岡市内に眠る利用可能な再生可能エネルギー

太陽光



年 1万 1900GWh
福岡市の約 230 万世帯分

風力



年 4600GWh
福岡市の約 90 万世帯分

小水力



年 6 GWh
福岡市の約 1000 世帯分

バイオマス



年 90GWh
福岡市の約 2 万世帯分

※福岡市資料から。／「利用可能量」とは法規制や利用技術の制約をふまえて取り出せる量。／GWh＝10億ワット時。

また、市の計画（環境・エネルギー戦略）では原発をどうするか何もふれていません。

倉元市議は、昨年度全国で原発稼働ゼロのもと再生可能エネルギーの普及が進み、温暖化ガスが減った事実を指摘。「原発ゼロを決断してこそ再生可能エネルギーは爆発的に普及がすすむ」として市側に脱原発の立場に立つよう提案しました。